—平和で、豊かで、美しく、可愛いものがほんとうに好きで—

# いわさきちひろ展

1 アヒルとクマとあかちゃん　1971年

「青春時代のあの若々しい希望を何もかもうち砕いてしまう戦争体験があったことが、私の生き方を大きく方向づけているんだと思います。
平和で、豊かで、美しく、可愛いものがほんとうに好きで、そういうものをこわしていこうとする力に限りない憤りを感じます。
今の世の中、いろんなものが失われていってるでしょう。とても素朴なんだけれどたいせつなもの、それが絵本の中にはあるんです。」

いわさきちひろ　1972年

1918（大正7）年生まれのいわさきちひろの娘時代は、戦争の時代と重なっています。戦時統制下の日本では、日毎に周囲からやさしい色彩が消え、息もつけない恐ろしい世の中になっていったと、ちひろは当時を振り返っています。第二次世界大戦後、絵本画家として活躍したちひろは、「何しろかわいいものが好き」と公言し、生涯、子どもを描き続けました。ちひろにとって子どもがいる平和な情景はかけがえのないものでした。本展では、ちひろの言葉とともに、あかちゃんや子どもを描いた作品や、子どもの心をとらえた絵本の原画を展示し、その背後にあるちひろの願いに迫ります。

## 命のかがやき

「本当に自然のすばらしい生命力があるんですね。子どもは全部が未来だし……。」1972年

2 つば広帽子の少女　1971年

## 子どもたちの肖像

一人の母親として、息子をこよなく愛したちひろ。ちひろが描く子どもたちには、母親のあたたかなまなざしが感じられます。

「小憎らしいということはたくさんありますけどね。それもまたちょっとかわいいじゃない。口をとんがらして文句を言っているあの顔はかわいいでしょう。」1972年

3 日傘を持つ女の子と赤い帽子の男の子　1970年

## 戦火のなかの子どもたち

ベトナム戦争が激化するなか、ちひろは自身の戦争の記憶を重ねて、子どもたちを案じ、病をおして絵筆を取りました。

「戦場にいかなくても　戦火のなかでこどもたちがどうしているのか、どうなってしまうのかよくわかるのです。子どもは、そのあどけない瞳やくちびるやその心までが、世界じゅうみんなおんなじだからなんです。」1973年

4 防空壕の子どもたち『戦火のなかの子どもたち』（岩崎書店）より　1973年

# 手から手へ展

## ―絵本作家から子どもたちへ　3.11後のメッセージ―

主催：手から手へ実行委員会、ちひろ美術館／共催：（社）日本国際児童図書評議会（JBBY）、東京新聞／後援：絵本学会、こどもの本WAVE、（公社）全国学校図書館協議会、日本児童図書出版協会、（社）日本図書館協会、スロバキア共和国大使館、スロバキア郵政

子ども達の未来のために　これ以上負の遺産を増やしてはならない。誰かの犠牲の上に成り立つ豊かさから決別したい。

降矢奈々（絵本作家・「手から手へ展」主催者代表）

「手から手へ展」は、子どもの本に関わる日本の絵本作家たちが中心となり、「3.11後の世界から私たちの未来を考える」というテーマで世界の仲間たちに呼びかけて作品を募った展覧会です。日本、スロバキア、そしてヨーロッパ諸国から有志の作家たち56名が参加し、震災の一年後の2012年3月に、イタリアのボローニャで最初の展覧会が開催されました。以後、ブラティスラバ、ワルシャワ、アムステルダム、コペンハーゲンへと巡回し、世界の人々に画家たちの想いを届けてきました。

2013年、「手から手へ展」が日本を巡回します。海外で出品してきた作品に、日本の絵本作家たちの新たな作品も加わり、7カ国110名の作品を展示します。子どもに向き合う絵本の画家たちが、3.11を忘れないために、また未来を生きる子どもたちへの想いを込めて描いた作品をご覧ください。

「手から手へ展」公式サイト　http://handtohand311.org/

5 降矢奈々　内部被曝　2012年

**出品作家**（110名）　あおきひろえ、青山友美、あべ弘士、荒井良二、アンヴィル奈宝子、飯野和好、石井聖岳、石田菜々子、市居みか、伊藤秀男、いとうひろし、いまいあやの、いまきみち、いわむらかずお、植田真、おーなり由子、大畑いくの、岡田千晶、おくはらゆめ、梶浦聖子、片山健、かとうまふみ、きたむらさとし、きたやまようこ、久保貴之、黒田征太郎、小柏香、児島なおみ、小林敏也、こみねゆら、酒井駒子、坂田季代子、ささめやゆき、篠原晴美、スズキコージ、そのだえり、瀧根進史、武田美穂、高畠純、高畠那生、田島征三、田島征彦、たしろちさと、田畑精一、たなか鮎子、田中清代、垂石眞子、たんじあきこ、tupera tupera（亀山達矢・中川敦子）、出久根育、どいかや、洞野志保、長野ヒデ子、西村繁男、のだよしこ、長谷川義史、はたこうしろう、浜田桂子、早川純子、ふしはらのじこ、藤本将、降矢奈々、降矢洋子、堀川理万子、松成真理子、松本春野、三浦太郎、宮沢ゆかり、村上康成、八木民子、山内ふじ江、山田真奈未、山福朱実、山本孝、和歌山静子、渡辺美智雄、渡邊智子、内田麟太郎、木坂涼、富安陽子（日本）／イゴル・ピアチカ、カタリーナ・スラニンコヴァー、ジョルト・ルカーチ、ダーヴィト・ウルシニ、ノエーミ・ラーツォヴァー、ペテル・ウフナール、ペテル・ソイカ、マルティナ・マトロヴィチョヴァー、マレク・オルマンジーク、ミロスラウ・レギトコ、ユライ・マルチシュカ、ユーリア・ピアチコヴァー、リュボスラウ・パリョ（スロヴァキア）／ヴァレリア・ヴァレンツァ、ヴィットリア・ファッキーニ、ダヴィデ・ロンガレッティ＆田隅真由子、フィリップ・ジョルダーノ（イタリア）／ミヒャエル・ゾーヴァ（ドイツ）／クラース・フェルプランケ、トム・スコーンオーヘ、ヒド・ファン・ヘネヒテン（ベルギー）／アレックス・デ・ウォルフ、イヴォンヌ・ヤハテンベルフ、ハリエット・ヴァン・レーク、ヒッテ・スペー、ヨーケ・ファン・レーウェン、ワウター・ヴァン・レーク（オランダ）／アーサー・ビナード（アメリカ）

6 ノエーミ・ラーツォヴァー（スロバキア）　お散歩天使　2012年

7 左：荒井良二　ニュー原始くん　2012年
8 右上：長谷川義史　もう一度この町で　2012年
9 右下：ヴィットリア・ファッキーニ（イタリア）
Give Me 5,6,7,8,9,and10 Ⅱ　2012年

10 出久根育　物知り太陽　2012年

# CHIHIRO ART MUSEUM TOKYO

## ちひろ美術館・東京　イベント・インフォメーション

＊イベントの詳細は随時ちひろ美術館HP（http://www.chihiro.jp/）でご案内します。

## 「手から手へ展」関連イベント

### ●降矢奈々講演会「"手から手へ展"のはじまりと、これまで。そして、これから」

「手から手へ展」の展覧会の呼びかけ人であり、中心となって活動してきたスロヴァキア在住の絵本作家・降矢奈々が、この展覧会の取り組みについて語ります。

**5/25**（土）17:30〜19:00
＊要申し込み、4/25（木）受付開始
講師：降矢奈々（絵本作家）
聞き手：広松由希子（絵本家）
会場：展示室４
定員：80名　参加費：800円（入館料別、高校生以下は入館料無料）

### ●手から手へフォーラム

「手から手へ展」の参加作家が、3.11後の被災地の声をきき、各々の想いについて語り合います。

**6/8**（土）17:30〜19:00
＊要申し込み、5/8（水）受付開始
パネリスト：降矢奈々・荒井良二
・市居みか（絵本作家）・遠藤ヒロ子
（福島子どもの本研究会代表）
会場：展示室４
定員：80名
参加費：1000円（入館料別、高校生以下は入館料無料）

12 市居みか　さわったよ　2011年

### ●ワークショップ「手と手でかこう」

「手から手へ展」にオランダから出品をした絵本作家のワウターさん。みんなの機械の絵を手から手へつないで、長〜い機械にします。

**6/22**（土）11:00〜12:30
＊要申し込み、5/22（水）受付開始
講師：ワウター・ヴァン・レーク（オランダの絵本作家）
通訳：野坂悦子
会場：図書室　対象：小学生
定員：30名　参加費：500円（入館料別、高校生以下は入館料無料）

### ●木坂涼＆アーサー・ビナード　詩の朗読会

**7/17**（水）17:00〜18:30
＊要申し込み、6/17（月）受付開始
講師：木坂涼（詩人）
　　アーサー・ビナード（詩人）
定員：60名
参加費：700円（入館料別、高校生以下は入館料無料）

### ●ててん茶話会

**5/26**（日）・**6/9**（日）・**6/16**（日）・**6/23**（日）・**6/30**（日）
**7/7**（日）・**7/14**（日）・**7/15**（日祝）・**7/27**（土）

14:00 〜 16:00　＊参加自由
会場：絵本カフェ他
手から手へ展の参加作家が絵本カフェで
みなさんをお待ちしています。
だれが来るかはHPでご確認ください。

**「手から手へ―絵本作家から子どもたちへ
3.11後のメッセージ―」展覧会図録発売中**

手から手へ実行委員会企画・発行
2013年2月26日発行　2500円（税込）

## 館外での「手から手へ展」関連企画

●降矢奈々絵本原画展　①5/17 〜 6/4　②6/13〜25　③7/11 〜23　ギャラリービブリオ（東京/国立）　●戦争ホーキ展　5/19 〜25　ゑいじう（東京/曙橋）　●まいにちのいちにち　5/23 〜 6/10　ウレシカ（東京/経堂）　●手から手へ 〜はじめのはじまり〜　6/2 〜7/19　シーモアグラス（東京/原宿）　●27名の絵本作家が贈る「絵本と挿絵の版画展」6/5 〜11　丸善丸の内本店ギャラリー（東京/丸の内）　●土といきもの展　6/7 〜18　ブックギャラリーポポタム（東京/目白）　●I LOVE EHON展　6/17 〜25　The 14th.moon（大阪）　●ボローニャ発 EHON展　7/22 〜 8/3　ピンポイントギャラリー（東京/青山）

## 「手から手へ展」巡回予定

●2013年8月24日（土）〜 10月6日（日）　平田本陣記念館（島根）
●2013年10月26日（金）〜 12月23日（祝月）　日本新聞博物館（横浜）
●2014年2月下旬〜 5月中旬　京都国際マンガミュージアム（京都）…他

**2013年3月1日（金）〜5月7日（火）安曇野ちひろ美術館で開催中**

「手から手へ展」公式サイト　http://handtohand311.org/

©From Hand to Hand

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館・東京

http://www.chihiro.jp/
お問い合せは、広報担当：原島・川口まで

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2　TEL.03-3995-0772（業務用）　03-3995-0612　FAX 03-3995-0680

# CHIHIRO ART MUSEUM TOKYO

## ちひろ美術館・東京　イベント・インフォメーション

＊イベントの詳細は随時ちひろ美術館HP（http://www.chihiro.jp/）でご案内します。

### ●松本猛 × 松本春野親子対談
### 「絵本『戦火のなかの子どもたち』から『ふくしまからきたこ』へ」

いわさきちひろの息子・松本猛と、ちひろの孫で絵本作家の松本春野が、絵本づくりについて話します。

**7/13**（土）14:00 ～ 15:30
＊要申し込み、6/13（木）受付開始
講師：松本猛（ちひろ美術館常任顧問、絵本学会会長）、
松本春野（絵本作家）
定員：60名　参加費：500円（入館料別、高校生以下は入館料無料）

### ●ちひろの水彩技法体験
### 朝顔を描こう

ちひろの水彩技法をわかりやすく解説し、透明水彩で、ちひろが用いた技法を体験する人気ワークショップ。今回は朝顔の絵を描きます。

**7/21**（日）11:00 ～ 15:00
＊当日受付、先着70名
講師：ちひろ美術館職員
対象：5歳～大人
参加費：300円（入館料別、高校生以下は入館料無料）

### ●夏休み 針金造形ワークショップ
### 「特大クワガタを針金でつくろう」

**7/28**（日）14:00 ～ 16:30
＊要申し込み、6/28（金）受付開始
講師：橋寛憲（造形作家）
会場：図書室
対象：6歳以上（小4以下保護者同伴要）
定員：15名
参加費：2000円（入館料別、高校生以下入館料無料）

### ●わらべうたあそび

声を出して歌ったり、体を動かしたりしながら、親子で楽しく参加できます。

**6/29**（土）11:00～11:40
＊要申し込み　5/29（水）受付開始
講師：服部雅子
（西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰）
対象：0～2歳までの乳幼児と保護者
定員：15組30名
参加費：無料
（入館料のみ、高校生以下入館料無料）

### ●おもちゃのひろば

おもちゃコンサルタント(*)が、優良なおもちゃの楽しみ方、遊び方をたっぷりご紹介します。＊おもちゃコンサルタント：NPO法人日本グッド・トイ委員会が育成するおもちゃの専門家。

**6/23**（日）10:30～12:00
＊要申し込み　5/23（木）受付開始
対象：3歳～未就学児とその保護者。
定員：10組20名
参加費：無料（入館料のみ、高校生以下入館料無料）
協力：おもちゃの広場　石神井支部

### ●ギャラリートーク

当館学芸員が、作品の解説や展示のみどころをお話します。
毎月第1・3土曜日
14:00～
＊参加自由

### ●えほんのじかん

展示や季節にあわせて絵本の読み聞かせなどを行います。
協力：NCBN
（ねりま子どもと本ネットワーク）
毎月第2・4土曜日
11:00～
＊参加自由

### ●松本猛 ギャラリートーク

**6/2**（日）14:00 ～　＊参加自由

いわさきちひろの息子である松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示のみどころなどをお話しします。

講師：松本猛
（ちひろ美術館常任顧問、絵本学会会長）
参加費：無料
（入館料のみ、高校生以下入館料無料）

### ○次回展示予告　2013年8月7日（水）～10月27日（日）

**ちひろ・絵本づくりの現場**

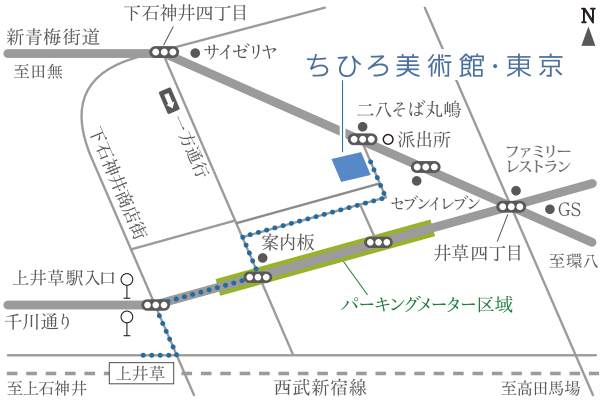
少年『戦火のなかの子どもたち』（岩崎書店）より　1973年

＜企画展＞
**ずっと長さんとともに**
―長新太が描いた子どもの本―

長新太　『あわてんぼらいおん』（徳間書店）より　2002年

いわさきちひろのドキュメンタリー映画「いわさきちひろ～ 27歳の旅立ち～」（2012年製作　監督：海南友子　エグゼクティブ・プロデューサー：山田洋次）の自主上映会のお申し込みを受けています。
詳細は映画の公式サイトをご覧ください。　http://chihiro-eiga.jp/joei.html

●展示会期…2013年5月22日（水）～8月4日（日）
●開館時間…10:00～17:00、GW（4/27～5/6）は18:00まで（入館は閉館の30分前まで）
●休館日……月曜日（祝休日は開館、翌平日休館。4/29、5/6は開館。5/7は休館。）
●入館料……大人800円／高校生以下無料
団体（有料入館者20名以上）、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引／障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料／視覚障害のある方は無料
●交通……◎西武新宿線上井草駅下車徒歩7分
◎ＪＲ中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き（荻14）上井草駅入口下車徒歩5分
◎西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き（荻14）上井草駅入口下車徒歩5分
◎駐車場あり（乗用車3台・身障者用1台）





公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館・東京
http://www.chihiro.jp/
お問い合せは、広報担当：原島・川口まで
〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2　TEL.03-3995-0772（業務用）　03-3995-0612　FAX 03-3995-0680